

大阪湾MOBAリンク構想の推進

令和5年7月から「ひょうご豊かな海づくり県民会議」や「ひょうごブルーカーボン連絡会議」を設け、兵庫県内の藻場干潟の保全・再生に取り組んでいる。

このたび、「大阪湾MOBAリンク構想」の実現を目指し、大阪府と大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス<MOBA>を設立。

1 大阪湾MOBAリンク構想とは

ブルーカーボン生態系の回廊（コリドー）で大阪湾沿岸をつなぐ

- ミッシングリンクとなっている湾奥部における藻場・干潟の創出
- 湾南部や西部における保全・再生

大阪・関西万博を契機に加速化
国際的な課題解決に貢献

2030年：SDGs達成、生物多様性回復
（ネイチャーポジティブ（自然再興））
2050年：カーボンニュートラル



2 大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス<MOBA>とは

Members of the **O**saka bay **B**lue carbon ecosystem **A**lliance

共同事務局：大阪府（環境保全課）、兵庫県（水大気課）

目的

2050年の「大阪湾MOBAリンク構想」の実現に向け、
様々な関係機関・団体等が主体的、かつ、連携して取組みを実施

構成

場の提供：地方自治体等
創出の担い手：民間企業、団体、漁業者等
創出の助言・支援：研究機関、有識者等

「ひょうご豊かな海づくり県民会議」にMOBA部会を設置

3 主な活動

- 取組状況の情報発信・普及啓発・理解促進を一元的に展開
- ブルーカーボン生態系の創出等の取組活性化
- 会員同士の連携による新たな創出等の検討・支援
- 藻場創出等が生物多様性等へ及ぼす効果把握 等

<調査・検討>

ノリ養殖
ブルーカーボン検討会

ひょうごブルーカーボン
連絡会議

連携

<取組促進・普及啓発>

ひょうご豊かな
海づくり県民会議

MOBA部会